

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

MSW ニュース 3月号

2017年3月1日発行

事務局：大浜第一病院

〒902-8571 那覇市天久 1000 番地

TEL (098) 866 - 5171

FAX (098) 864 - 1874

E-mail t-matayosi@ns.omotokai.jp

編集：長原野（南部病院）

平成 28 年度 入退院支援連携デザイン事業  
中部圏域 実務者研修会 開催報告

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 奥平 藤也

入退院支援連携デザイン事業実務者研修会（中部圏域）は、2月4日（土）嘉手納町中央公民館で行われました。

準備の都合で広報活動が短期間であったにもかかわらず、中部保健医療圏の全市町村から行政関係者も含む 230 名を超えるお申し込みを頂きました。特に申込の締切日には 100 名を超えるお申し込みを頂き、会場の都合でその後の申込をお断りせざるを得ない方もいました。

この件につきましては大変申し訳なく、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

先に行なわれた宮古、八重山圏域と同様に盛りだくさんのプログラムでしたが、シンポジストのみなさんのわかりやすくも熱のこもったプレゼンテーションに胸を打たれ、グループワークでは参加者の皆さんも活発な意見交換がとて多くされていたように思います。

今回の研修では、シンポジストのみなさんには準備の段階から打ち合わせにお越し頂き、当日の運営においても、介護支援専門員のみなさまが自発的にファシリテーターなどを買って出てくださいたり、一般参加の MSW 協会メンバーの方にも手伝っていただいたりと、ボランティアとして多大な協力が得られました。おかげさまで、時間を超過することなくスムーズに研修会を終えることができました。

終始、中部圏域の方々のフットワークの軽さ、パワーを肌で感じる事ができたように思います。スタッフ一同、この場をお借りしまして感謝申し上げます。

CONTENTS

入退院支援連携デザイン事業 実務者研修会 (中部圏域) .....	1
入退院支援連携デザイン事業 実務者研修会 (八重山圏域) .....	2
新入会員紹介 .....	3
運営委員会議事録 .....	4
研修部だより .....	6
コラム .....	7
福祉の窓 .....	8

---

## 平成 28 年度 入退院支援連携デザイン事業 八重山圏域 実務者研修会 開催報告

ハートライフ病院 望月 祥子  
大浜第二病院 安慶名 真樹

---

1 月 29 日(日)、宮古に引き続き八重山圏域の研修会が、石垣市の沖縄県八重山合同庁舎にて無事開催の運びとなりました。前日は旧正月で石垣島は忙しいにも関わらず、関係職種の方々約 70 名が参加され、朝から夕方までの研修を無事開催することができました。

実務者研修の前半は各圏域同じ内容のため、ここでは主に午後のシンポジウムとワールドカフェについて報告します。シンポジウムで発表をされた方は 6 名です。池城咲野氏（石垣市地域包括支援センター保健師）、宮良久美子氏（沖縄県立八重山病院看護師長）、野原育子氏（かりゆし病院 MSW）、仲原恵子氏（訪問看護ステーションうりずん看護師）、國仲麻希子氏（かりゆし病院理学療法士）、後藤美奈氏（なごみの里ケアプランセンター介護支援専門員）よりご報告をいただきました。八重山圏域では、平成 22 年より『医療と介護連携パス』の作成と運用について協議がはじまり、既に運用が定着しつつあります。「効率的に必要な情報を共有できるようになった」「共通ツールの使用により作業が楽になった」という成果と、「継続した管理方法」「八重山圏域すべての有床病院への浸透」という課題もでてきています。

また、石垣市では在宅医療・介護連携推進事業における入退院時情報共有実態調査を実施した結果報告もありました。退院時に介護支援専門員への連絡がないケースが 3 割存在し、入院中に状態が変化した方の調整について、地域連携室がない病院との調整に難渋しているとの介護支援専門員からの意見と、病院の機能を理解して欲しい、病院から地域に出向いての在宅療養支援ができるような体制づくりが必要等の病院からの課題が報告されました。

報告者の何名かが実際に関わっている事例報告もあり、支援者がいつどのように、どこまでの支援をしていくかについて考える機会となり、関係機関及び職種間の連携の必要性を改めて理解することができました。

シンポジウムも踏まえ、ワールドカフェでは「患者さん・利用者さんの生活を支えるために、それぞれの立場でできること、できないこと」をテーマに短い時間でしたが、楽しくワークできたと思います。参加者は MSW や介護支援専門員、看護師だけではなく、行政・保険調剤薬局薬剤師・栄養士・歯科衛生士・歯科医師が参加されており（医師の参加がなかったことは残念ですが）、訪問薬剤や訪問歯科とももっと連携していきたいという声や、具体的に明日以降連携がしたいとのディスカッションがされ、みなさんが日々の業務の中で、更に「やりたい」ことが見つかったのではないかと思います。

研修後のアンケートでは、「富樫先生の講義をもっと聞きたかった。」「多職種との意見交換の場をもっと作ってほしい。」「事例検討の知識や技術、関係職種間の連携、ネットワーク講義等の研修会を開催して欲しい。」等の意見が沢山寄せられました。

今後、八重山圏域において、『医療と介護の連携パス』がもっと浸透し、患者さんや利用者さんの生活を支えるために、もっと進化していくことを期待したいですね。



ワールドカフェで意見交換

実行委員の皆さんお疲れ様でした



---

## ☆ 新入会員？紹介 ☆

医療法人上善会 かりゆし病院 野原 育子 ・波照間 光茂

---

出身は「泡波」で有名？な日本最南端の波照間島で、14年前に愛知県からUターンで八重山に戻ってきました。現在、医療法人上善会かりゆし病院地域療養支援室で入院相談や転院調整・退院調整、地域医療連携業務を行なっています。

“飲みにケーション”大好きな“オヤジ”（最近、言われても気にならなくなりました(^\_^;)）です。

今回の入退院デザイン事業の研修に参加し、本島のMSWさんたちとの顔の見える連携がとれるようになってきたと思います。今後ともよろしく願います。（波照間）

---

初めまして??と言うより、お久しぶりです（私を知っている方は、MSW歴に年季が入っていますね・・・笑）。私は、那覇市内の病院で10年余勤め、平成20年の出産を機に、MSWの仕事から一時離れました。平成24年に故郷の石垣島に戻り、MSWに復帰！！かりゆし病院で再スタートを切り、早くも5年が過ぎようとしています。これまでの経験を糧に離島のハンディを乗り越えて、バリバリやっています！！と言いたいところですが、MSWの仕事は、そんなに甘くないし、何年やっても「これだ！」と答えがでないですね（だから、まだ続けているのかも？）。

これからも初心を忘れずに、援助に磨きをかけ、歳を重ねるごとにパワーアップできるように頑張りますので、今後ともよろしく願います。

みなさん、石垣島にも、ぜひ遊びにいらしてください。お待ちしております！！（野原）

---

## 運営委員会議事録

---

開催日時：2017（平成29）年2月20日（月）18：45～20：10

出席者：當銘、樋口（司会）、伊禮、仲地（記録）、新垣、又吉、島袋、安慶名、奥平、香村

場 所：那覇市立病院

### 1. 研修部

① めだかの学校 3月15日（水）19：00～

場所：那覇市立病院

講師：ちゃーがんじゅう課 2名

テーマ：介護・予防日常生活総合支援事業について

\*今回はオープン研修となるので多くの参加者を募る

② めだかのホームルーム 3月9日（木）19：00～

場所：中頭病院

内容：事例検討会

③ めだかの放課後 3月17日（金）19：00～

場所：大浜第一病院

講師：関 建久 氏

テーマ：未定

④ OGSV

日時：2017（平成29）年3月22日（水）19：00～21：00

場所：那覇市立病院

内容：研修評価方法について

⑤ 入退院支援連携デザイン事業（県委託）

宮古圏域（12月実施）、八重山圏域（1/29実施）、中部圏域（2/4実施）

北部圏域（3/5実施予定）、南部圏域（3/18実施予定）

◎中部圏域：180名の参加 グループワークは90名程度

- ・時間通りに進行できた
- ・人数が多く座席は配置に課題あり
- ・グループワークも楽しそうに実施できた
- ・グループワークの説明と時間管理うまくできた

◎北部圏域：2/20時点で120名の申し込み

スライドも完成済み

◎南部圏域担当者打ち合わせ：2/28発表者の打ち合わせ予定

- ・申し込み：2/20時点 91名 ※3/3が申し込み締め切り

<1/30 研修部＋初任者研修講師のミーティング>

- ・今年度の初任研の振り返り
- ・次年度の初任研の予定を立案

- \* 次年度はオリエンテーション含め4回を予定
- \* 1回目6月、2回目7月、3回目10月の日曜日で開催予定。
- \* 2年間ですべて受講できれば受講証明書を発行する。昨年の受講者で受講できなかった研修があれば次年度も受講可能。
- \* 今年度の受講者で次年度も受講予定者には受講証明書を発行する（案）研修部で要検討
- ・その他研修
  - \* 災害予防 瀧本浩一先生（山口大学 准教授）
  - \* 井上先生 3月頃予定 2日間
  - \* その他多数予定
- ・次年度、宿泊研修は予定しない

## 2. 広報部（仲地）

- ・ はいさいワーク 大浜第一病院より募集あり
  - \* 市立病院にてフォーマットを作成し、所定のフォーマットではいさいワークを掲載予定。
- ・ ホームページにデザイン事業自体の要項の各圏域の要項をアップする
- ・ MSW ニュース 3月号担当 長（南部病院） 2/22 締め切り

## 3. 社会活動部（なし）

## 4. 事務局（當銘）

- ◎off-JT おきなわより後援の依頼→承諾
- 講演会・シンポジウム「多問題に立ち向かう地域包括ケアとは？」
- 場所：沖縄市民会館 4月14日（金）10：00～16：00

## 5. 樋口会長

### 入退院支援連携デザイン事業関連

- \* 来年度、医師会委託以外の市町村は8本事業を実施しないといけない
- 委託しない市町村には県が支援していく予定。当協会に協力依頼が予想される。
- \* 連携シートが完成した後、看護協会に普及を依頼していくことになりそう
- \* 地域ケア会議の個別ケースのサポート

## 6. 沖縄県ソーシャルワーク学会

- 平成29年2月18日（土）に開催 参加者120名
- \* 来年はソーシャルワーカー協会が担当

## 7. 提案：美術サークルの立ち上げ

- ・ ロゴやイメージカラー、ニュースのデザイン等について会員に広く呼びかける
- \* 那覇市立病院の伊禮にてニュースに掲載する。相談窓口もいったん伊禮で

**次回理事会：3月21日（火）18：30～ 司会：新垣 書記：島袋 連絡係：秦**

-----  
**研修部だより**      **平成 29 年 3 月の予定**  
-----

**めだかの学校 定例活動**    ★オープン参加（めだか以外の方も参加OKです）★

日時：3月15日（水）18：30～  
場所：那覇市立病院  
講師：那覇市ちゃーがんじゅう課  
内容：介護・予防日常生活総合支援事業について

**めだかの放課後**

日時：3月17日（金） 19：00～  
場所：大浜第一病院      ←←←お間違えのないようにご注意ください!!  
講師：関 建久 氏（北海道MSW協会会長）

**めだかのホームルーム**

日時：3月9日（木） 19：00～  
場所：中頭病院  
内容：事例検討（松永）

**O G S V**

日時：3月22日（水） 18：30～20：00  
場所：那覇市立病院  
内容：研修評価方法について

**入退院支援連携デザイン事業（県委託事業）**

●北部圏域●

日時：3月5日（日） 10：30～16：30  
場所：名護市役所 羽地支所  
講師 沖縄大学 富樫八郎氏  
内容：「患者の <どう生きるか> を支える支援について」

**\* 詳細は案内文をご参照ください**

●南部圏域●

日時：3月18日（土） 10：30～16：30  
場所：沖縄県総合福祉センター ゆいホール  
講師 沖縄大学 富樫八郎氏  
内容：「患者の <どう生きるか> を支える支援について」

**\* 詳細は案内文をご参照ください**

---

## コラム

---

### 『出会いに感謝』

～人との出会いは素晴らしいこと～

この仕事をしていると、常々感じます。それは、驚きであったり、感心であったり、喜怒哀楽、自分自身の成長など様々です。例えば、車いす生活になった親に元々無関心だった子どもが、介護士から介護方法を学んでマスターして、ケアマネージャーいらすになる。脳梗塞で仕事を失ったが、家族の協力もあり専業主夫として笑顔で再起する。福祉の行政手続きをご家族に説明したら、ものの数日で実行し完了する。人ってすごい。

ある日、Tさん（76歳男性・脳梗塞後）に出会いました。職歴が校長先生だったからか、おっとりとした笑顔のなかに芯のぶれない強い眼差しを持った方です。いつも、病室に会いに行くと窓際のテーブルに向かった車いすの背中を見ます。なにをしているかというと「読書」です。Tさんとの会話のほとんどは、本のススメでした。「君にも『竜馬がゆく（司馬遼太郎）を読んでほしい。天真爛漫で楽しいよ。』と渡された単行本は40年前の初版！？でした。私がこの世に誕生する前です。奇跡と思いました。私も本好きですが（気に入った現代小説・シリーズ全巻は大人買いします）、読んだことはありません。この際だからと、「今度購入して読みます」とTさんと約束しました。

退院の見通しがたち、理学・作業療法士、新規ケアマネージャーと家屋訪問を行いました。すると、驚きました。壁一面が本棚で、ゆうに5,000冊を越えていました。「書斎にはもっとあるけどね」と話したTさんの眼はひときわ輝いていました。ケアマネージャーの顔が「これはデイケアに行かないな」と青ざめていくのが分かりました。Tさんは杖で歩きたい、リハビリを続けたいと言っていたが、本音は家のなかで読書に没頭して過ごすことが幸せなのだろう、と私もその横で直立不動になりました。

この仕事をしていると、色々な人、家族、価値観に出会います。

逆境を乗り越える強さであったり、弱さであったり、今までの絆とこれからの絆など様々です。

あれから、Tさんはどうしているのだろう。手元の竜馬の本を読みながら、Tさんの生活を思い浮かべる今日この頃です。

担当 K・M





# 福祉の窓

▷679

足首の骨折で入院、その間シャワーチェアを使っていた。退院後、完治まで3カ月間は同じシャワーチェアを自宅でも使いたいと考えています。一時的にシャワーチェアを借りることはできますか？

## シャワーチェア借りたい

シャワーチェアは、お住まいの市町村社会福祉協議会（以下、社協）で、借りることが可能な場合があります。社協によって、相談者のように65歳未満で介護保険などの対象外の方々を対象に、福祉用具を貸し出す「福祉用具貸与事業」を行っています。これは、歩行器・車いすなどを無料・低額で貸与する事業で、社協によって貸与条件や用具の種類・期間・費用・手続き方法などが異なりますので、お住まいの市町村社協にご確認ください。

## 近くの社協に相談を

れることにより形態・品質が変化することから、衛生面などが考慮され、福祉用具の中でも「特定福祉用具」として、「ポータブルトイレ（簡易トイレ）」と同様に購入することが一般的であるといえます。高齢者が利用する際は、介護保険制度による「特定福祉用具購入」の助成制度があります。

シャワーチェアの場合、市町村社協によっては貸与が難しく、購入となるかもしれません。また、安全性や耐久性などを考えると福祉用具の専門業者へのご相談をお勧めします。専門業者は、入院先のソーシャルワーカーや市町村社協窓口でも照会が可能です。

（県医療ソーシャルワーカー協会 平良愛）

県ソーシャルワーカー協議会は福祉にまつわる相談を受け付けます。宛先は、〒901-2299宜野湾市、宜野湾郵便局私書箱144号「福祉の窓」係まで。

## 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 ホームページ

<http://www.msw-oaswhs.jp/>

### ☆ 編集後記 ☆

豆まきも終わり、ようやく冬らしい寒さが訪れたかと思いきや、おきなわマラソン当日は 21℃の快晴に…（汗）練習不足の身には堪えましたが、無事に完走できました。

年度末に向けてアチラコチラで「地域連携懇親会/交流会/情報交換会」が開催されていますね。この機会を活かして日頃の連携に感謝しつつ、より良い支援につながる意見交換ができればとご招待があれば圏域外へも喜んで馳せ参じます♪

インフルエンザもまだまだ油断できない年度末、会員の皆さんもお体ご自愛ください。

公私共にお忙しい中、原稿を快くお受けいただきました皆様、本当にありがとうございました。